

「腎癌根治術後肺転移に対する肺切除の治療効果の検討」  
についてのご説明

● はじめに

腎癌は10万に当たり約6人発生し、70%は淡明細胞癌という組織型になります。再発・転移を来した場合、遠隔転移先では肺が最も多く、転移巣の切除、すなわち肺切除に治療効果があることが報告されてきました。腎癌に対しては本邦では2008年より分子標的薬の使用が開始されましたが改めて、転移を来した場合に肺切除に治療効果があるのか調べるのが重要であると考えました。

● 研究対象

1992年1月1日～2017年12月31日の期間に札幌医科大学附属病院呼吸器外科で腎癌根治術を施行済みの肺転移を切除した患者さん

。

● 予定症例数

63 症例

● 研究内容

過去の診療情報・手術記録を用いてデータを集めて使用します。生存期間を求めて、治療効果を検討します。

● 利用する情報

性別、年齢、腎癌の病期、腎癌根治術後の投薬治療の内容、術式、肺転移個数や大きさ、肺転移出現時期、肺切除回数など。

● 患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

● 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

1992年1月1日～2017年12月31日の間で、本院に入院し呼吸器外科で腎癌肺転移に対する肺切除を受けた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。その場合、研究対象から除外されます。しかし、既に学会発表、あるいは医学雑誌への投稿されている場合には除外できない場合があります。

● 研究期間

(病院長承認日) から 2019 年 12 月 31 日まで

● 医学上の貢献

研究成果は腎癌肺転移に対する肺切除の治療効果を明らかにする可能性があります。

● 問い合わせ先 〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

札幌医科大学附属病院 呼吸器外科

本院研究責任者 宮島 正博

同研究分担者 槇 龍之輔

【平日 TEL(011)611-2111 内線 33020 (教室)

休日・時間外 TEL (011)611-2111 内線 33210 (5 階北病棟)】